

被災者健康相談票

				NO			
		種別	・面接 ・TEL ・訪問		対象者	・乳幼児 ・妊産婦 ・成人 ・ねたきり ・難病 ・その他	
氏名	〇〇 〇〇 男・女		M.T.S.H		相談日	H19. 7. 20	
			〇〇年〇月〇〇日 (68歳)		避難所	〇〇コミュニティーセンター	
①現居所	市町村 丁目 番 号 (TEL -)			連絡先			
②新居所	市町村 丁目 番 号 (TEL -)			連絡先			
相談者	氏名	続柄 ()		市町村 丁目 番 号 (TEL -)			
既往症	糖尿病			現病歴治療状況	医療機関名 〇〇病院 主治医 有 現在の服薬状況 (中断・継続) 薬品名 (ラキソベロン他)		
自覚症状	・頭痛、頭重 ・不眠 ・倦怠感 ・吐き気 ・めまい ・動悸、息切れ ・肩凝り ・関節、腰痛 ・目の症状 ・咽頭の症状		・せき ・たん ・便の性状 ・食欲 ・体重減少 ・精神運動減退 ・空虚感 ・不満足 ・決断力低下 ・焦燥感	・ゆううつ ・朝方抑うつ ・精神運動興奮 ・希望喪失 ・悲哀感 ・口腔内症状 () ・ ・ ・	被災状況 全壊 半壊 なし ()		
					家族状況 息子		
相談内容 避難所で自衛隊の炊き出しを利用しているが、糖尿病の食事コントロールが困難				指導内容			
食事状況 ・食欲 有 ・ 無 ・食事制限 有 ・ 無 (具体的 糖尿病 1,800kcal) ・主な食事内容 (自衛隊の炊き出し) ・水分摂取状況 ()				今後の支援計画 解決 継続 現状からは医療での管理が望ましいと思われる 受診後状況確認をする 食事内容については栄養指導班につなげる			

被災者栄養相談票(経過用紙)

救護場所	〇〇コミュニティーセンター	氏名	〇〇 〇〇	No. 1
月 日 相談方法	相談内容	指導内容	担当者	
フェイズ1	自衛隊による炊き出しの開始		栄養指導班	
フェイズ2	避難所で自衛隊の炊き出しを利用			
7/24 (11 日目) 面接	<ul style="list-style-type: none"> ・上の歯がないためご飯は食べにくく感じているが、自分ばかりが我が儘を言えないと感じている ・肥満や糖尿病であり自分でも気になっているが、食事のコントロールが困難 	<p>午前中は血糖値が高く、具合が悪いと言って横になっている (栄養指導班到着時も横になっていた)</p> <p>* 自衛隊の食事利用への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事量を控えめにする ・野菜は全部食べるようにする <p>* 特殊食品の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯の問題からレトルト粥を渡し、夕食にお粥を取り入れる 		
7/28 (13 日目) 面接	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬は正しくしているが、血糖コントロールが悪い 	<p>* 自衛隊の食事利用への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯の盛り方を少なくする ・揚げ物を1個にする ・デザートを少なくする <p>* 支援物資の利用に対する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間食について、本人は食べていないと言うが、保健師の話では間食を食べ、スポーツ飲料も飲んでいる。血糖コントロールの必要性について説明し、間食、ジュースをやめるよう指導 	栄養指導班	
7/31 (16 日目) 面接	<ul style="list-style-type: none"> ・食事には注意をしているが、血糖コントロールが悪い 	<p>* 自衛隊の食事利用への指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事は少なめに盛ってもらう ・果物(スイカがよく出る)は1/2~1/3位を残す ・野菜は全部食べるようにする <p>* 支援物資の利用に対する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間食を控える <p>受診後、状況確認が必要</p>	栄養指導班	

被災者栄養相談票(経過用紙)

救護場所	〇〇〇コミセン	氏名	〇〇 〇〇	No. 2
月 日 相談方法	相談内容		指導内容	担当者
8/2 (18 日目) 面接	<ul style="list-style-type: none"> ・便秘が改善されず困っている ・夕食は主食にお粥を食べている。空腹感があるため夕食はかさのあるお粥にしてもらっている 		<ul style="list-style-type: none"> ・間食を控え、食事量も少なく盛り付けてもらっているため食事療法は適切に行われている。 * 特殊食品の利用 ・便秘改善のため、食物繊維 5g を 10 包渡す ・夕食の主食はお粥にしているが、早く食べてしまうことで空腹感があることも考えられる。主食について本人と相談してもらうよう、避難所保健師へ申し送りをする 	栄養指導班
8/6 (22 日目) 面接	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつが配られるがどの程度食べても良いか 		<ul style="list-style-type: none"> * 支援物資の利用に対する指導 ・血糖値は高値である。間食は控えると共に病院受診時に医師の指示を仰ぐよう勧める 	栄養指導班
<div>12 日 自衛隊による食事提供終了→弁当プロジェクトによる弁当配食開始</div> <div>13 日 仮設住宅への入居開始</div>				
<div>フェイズ 3</div> <div>避難所で市の提供する弁当を利用</div>				
8/21 (37 日目) 面接	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、昼はおにぎり 1 個、汁物、副食として糖尿病食、夕食はお弁当のご飯、副食として糖尿病食を食べ、弁当のおかずは残している。間食はしていない ・自衛隊の炊き出しが終わってから野菜が不足しがちになった。野菜ジュースは医師から禁止されているため飲んでいない ・地震前、自宅ではコンビニ弁当を食べることが多かった。アパートの台所は狭いので調理する気にはなれず、購入して食べる事が多かった 		<ul style="list-style-type: none"> * 支援物資の利用 ・糖尿病食(エネルギー調整食)、食物繊維飲料を渡し、組合せ方、食べ方について説明 * 自宅での食事について ・自宅に戻った際の食事について説明 ◇残った課題・今後について ・自宅に戻ってからの食事について、自宅を訪問し指導が必要→継続として市へ引き継ぐ 	栄養指導班